

2025 年度 事業報告
(2025 年 4 月 1 日～2026 年 3 月 31 日)

はじめに

- (1) 2025 年は世界の二極化と米中関係の複雑化が進み、ポスト・コロナ時代として人々の交流が再活性化してきたなかで、過去を踏まえた新しい日中関係が、両国国民の相互理解の上に築かれていくべく、当協会の果たさなければならない役割がより大きくなってきた。協会創立 75 年を迎え、国交正常化前以来と言われる厳しい現状であるからこそ、創始の精神と大いなる期待感を以て、次の時代を切り拓いていくことを念頭に置いて活動をおこなった
- (2) 会長指針として、①コミュニケーションの充実と事業共創 ②魅力ある事業の実践・拡大・発信 ③組織力強化とマインド改革 の 3 点を掲げて事業に取り組んだ。
- (3) 昨年 11 月、国会での高市首相による「台湾有事は存立危機事態」とする発言により、日中関係は急速に冷え込んだ。当協会の活動にとどまらず、相互訪問を中心とするさまざまな交流が中断を余儀なくされ、国内でも中国大使館や各地の中国総領事館との交流が大幅に縮小されており、2026 年度の活動も大きな影響を受けると予想される。

協会の組織運営

- (1) 今年度は、定時総会 1 回、定例理事会 3 回、臨時理事会 1 回および業務執行理事会 6 回を開催した。第 17 回定時総会（6 月 13 日開催）は 2024 年度事業報告と収支決算報告および改選にともなう理事・監事を承認した。第 61 回定例理事会（1 月 30 日開催）は 2026 年度事業計画と収支予算を承認した。
- (2) 2025 年 1 月調査日現在、39 の都道府県日中友好協会（以下県協会と略す）が入会している。休会は徳島県、愛媛県、香川県の 3 県、未入会は宮崎県の 1 県。未組織は島根県、山口県、長崎県、沖縄県の 4 県である。
- (3) 青年委員会等及び女性委員会等のある県協会は次のとおり。
青年委員会等：北海道、宮城県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、長野県、石川県、福井県、三重県、大阪府、和歌山県、岡山県（16 都道府県協会）
女性委員会等：北海道、宮城県、秋田県、山形県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、石川県、三重県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、岡山県、熊本県、大分県、鹿児島県（23 都道府県協会）

事業報告

1. 友好促進交流事業

1-1. 日中友好大学生訪中団等の派遣

- ① 2025 日中友好大学生訪中団第 1 陣
事前研修会：5 月 11 日
訪中団日程：5 月 24 日～30 日
訪問地：上海、山西省、北京
参加者：団長 佐々木政常務理事、副団長 小宮一郎理事 団員 90 名、団役員 8 名
- ② 2025 日中友好大学生訪中団第 2 陣
事前研修会：7 月 5 日
訪中団日程：7 月 24 日～30 日
訪問地：河北省、北京
参加者：団長 佐々木政常務理事、副団長 小田玲実理事 団員 91 名、団役員 7 名
- ③ 2025 日中友好大学生訪中団第 3 陣
事前研修会：8 月 19 日
訪中団日程：9 月 8 日～14 日
訪問地：北京、長春、瀋陽

参加者：団長 安藤公一副理事長、副団長 小宮一郎理事 団員 92 名、団役員 8 名

1-2. 第 18 回日中友好交流会議 in 茨城

開催日 10月19～21日

開催地 茨城県日立市 日立シビックセンター・ホテルテラスザスクエア日立
国民宿舎鶴の岬

出席者 日本側 123 名 中国側 58 名(中国大使館 5 名を含む)

内 容 日本側は協会役員と会員、協会関係者が各地から参加し、中国側は袁敏道・中国人民対外友好協会副会長をはじめ全国の省・市政府や対外友好協会の幹部らが来日した。前日の歓迎レセプションを経て、開幕式・基調講演に続き、「新しい地方間交流」をメインテーマに 4 つの分科会を通じて意見交換を行い、新しい地方間交流を創り出す決意をうたった大会宣言を採択した。

1-3. 日中友好協会代表団等の派遣

① 実務訪中団

参加者：揚原理事長 安藤副理事長 小宮理事 鈴木事務局次長(一部日程で静岡県日中友好協会 細美常務理事・汪理事)

受入機関：中日友好協会

期 日：11月19～21日

訪問先：北京

内 容：中日友好協会との 2026 年事業計画の調整会議のほか、中華全国婦女連合会、中国電子商会の訪問等

1-4. その他訪中団等の派遣/共催や支援

① 青年リーダー研修訪中団

参加者：揚原理事長(団長) 伊藤理事(副団長) 鈴木事務局次長ほか全 17 名

招聘機関：中国大使館

受入機関：中国人民対外友好協会

期 日：9月9～13日

訪問先：北京・重慶

内 容：中国人民対外友好協会、外交部の訪問のほか、事前に組織した「情報発信」「国際事業」「学校交流事業」「吐息事業」の 4 つの委員会の意向に沿った 6 社のテクノロジーベンチャー企業等を視察。重慶では重慶市外事弁公室との交流や視察・訪問を実施。

② 2025 中国留学経験者訪中団

参加者：佐々木常務理事(団長) 小田理事ほか全 30 名

招聘機関：中国大使館

期 日：10月25～30日

訪問先：北京・大連

内 容：ファークウェイ北京研究所等にて中国の最新テクノロジーを視察・体験のほか、中国人民抗日戦争記念館での歴史学習、北京外国語大学での交流や、大連での「日中交流フォーラム参加、中国文化や武術の視察・研修等を実施。

1-5. 中日友好協会代表団等の受入

① 第 18 回日中友好交流会議で 5 名の受入

② その他代表団・訪日団の受入 9 月 湖北省潜江市代表团

1-6. その他訪日団等の受入/共催や支援

① 中華女子学院交流団

8月26日、馬瑜学生工作部長を団長とする 14 名が来訪。宇都宮会長と坂下常務理事、奥全国女性委員会委員長が応接。

② 中日友好協会

10月10日、程永華常務副会長、程海波副会長兼秘書長、劉夢妍政治交流部副部長、王怡凡政治交流部職員の4名が来訪。宇都宮会長と坂下常務理事が応接。

1-7. 私設奨学金制度支援（民間団体奨学金運営受託）の募集・選考・派遣

① アポロトレイディング奨学金

アポロトレイディング株式会社のご寄付・ご協力を得て実施。中国の大学・大学院等へ留学する日本人学生に対し経済的支援を行い、研究活動・中国語学習を支援するとともに、日本と中国の架け橋となる人材を育成することを目的として実施。

(1) 募集期間 2025年5月7日～5月19日

(2) 募集対象 中国の大学・大学院等へ10か月以上留学する日本人学生

(3) 募集人数 2名程度

(4) 奨学金額 月額100,000円（返済不要）

(5) 選考方法 書類選考、一次面接(オンライン)、二次面接(アポロトレイディング本社)により総合的に審査を実施した。

(6) 応募・選考結果 応募者数11名 採用者数2名

採用者 海野 愉里 留学先：香港大学(慶應義塾大学からの交換留学)

小嶋 涼香 留学先：北京語言大学(本科生)

1-8. 日中友好都市間交流中学生卓球交歓会 2025 アポロトレイディング奨学金

期 日：8月4～6日

開催地：北京市・北京体育大学体育館

参加チーム数：日本と中国の友好都市合同チーム 42チーム

出席者：宇都宮会長 川津副会長 安藤副理事長 小宮理事 西堀専務理事(長野県代表团)

1-9. 地域での日中交流系事業の企画/共催/支援

① チャイナフェスティバル 2025 への出展

日時：9月6,7日

場所：代々木公園イベント広場

2. 中国語等普及事業

2-1. 第43回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会。

期 日：1月11日

開催地：日中友好会館

高校生部門6名、一般部門6名、大学生部門10名が出場し審査を実施、朗読部門3名が発表。

最も優秀な人に贈られる日中友好協会会長賞には東京都の一般部門・池田真也さんが受賞した。各部門の優勝者は次の通り。

スピーチ部門

高校生部門 那須美佑さん(岩手県)

一般部門 池田真也さん(東京都)

大学生部門 増田佳純さん(奈良県)

朗読部門 ※音源審査による決定で発表のみ

中高生部門 神崎心玖さん(岡山県)

一般部門 関崎朋子さん(長野県)

大学生部門 吉田頼親さん(奈良県)

なお、都道府県大会は、24箇所で開催し、スピーチ部門と朗読部門に428名が出場した。

該当県協会からの推薦者に対して11月18日に音源審査を行い、全国大会出場者を選考した。朗読部門も同様に11月18日の音源審査により各部門の優秀賞1名を決定し、全国大会で発表した。

2-2. 中国政府奨学金生（以下「公費留学生」という。）の募集・選考・派遣

① 中国教育部及び中国大使館教育部の協力のもとに、中国政府奨学金を受給する公費留学生を

選考し決定した。

7月25日 中国大使館教育部より入学許可書を受領。

8月11日 2024年度日中友好協会派遣留学生帰国報告会・交流会を開催。

② 2026年9月に留学する公費留学生の募集・選考

12月8日～25日 出願受付（応募者数38名）

1月7日 第一次選考（書類審査） 26名合格

1月18日 第二次選考（面接試験） 内定20名。補欠3名。

③ 中国留学友の会

公費留学生の同窓会である中国留学友の会の総会を8月11日に日中友好会館にて実施。

2-3. 第18回漢語橋世界中高生中国語コンテスト日本大会

2025年5月に募集要項を公開し、スピーチコンテストを実施した。

開催日時：2025年6月14日

会場：浜離宮朝日小ホール

日本大会参加者数：10名

大会結果：上田ゆうなさん(国際基督教大学高校2年)が優勝

日本代表として上田さんを世界大会へ推薦。

10月に開催された世界大会では優秀賞を獲得。

3. 会報等発行事業

3-1. 機関紙「日本と中国」発行事業

① タブロイド版（カラー）12ページ。毎月1日付発行（年間の12回発行）。

② 各地で実施されている友好事業の紹介と中国理解に役立つ情報の紹介を通じて日中の相互理解に貢献。

③ Web発信の充実、SNS等の活用による発信力強化、アーカイブ、リンク型会報の調査

3-2. 75周年記念誌「写真でつづる75年間の足跡」

第18回日中友好交流会議の併催事業として、パネル展示「写真で見る日中友好交流の75年」を開催。

4. 出版・発信受託事業

4-1. 友好手帳2026年版を9月に発行

4-2. 雑誌「人民中国」の販売

5. その他の活動

5-1. 2026年日中友好新年会等の開催

1月30日、第61回定例理事会後に如水会館にて(認定NPO)東京都日中友好協会と共催。呉江浩中国大使、外務省から金井正彰アジア大洋州局長、野田毅日中協会会長をはじめ150名の出席があった。

5-2. 他友好団体や、民間交流事業への積極的支援

後援・協力は公演・展覧会等65件。詳細は別添の通り。

5-3. チャイナフェスティバル2025への協力

2025年9月6,7日、代々木公園イベント広場で開催されたチャイナフェスティバル2025に東京都日中友好協会青年委員会と新宿区日中友好協会の協力を受けてブース出店。10月の第18回日中友好交流会議と併催のパンダフェスのチラシ配布や書道体験・切り絵体験を

実施した。

5-4. 協会実務者会議の開催

第1回 日時：11月28日 場所：リモート

第2回 全国責任者・実務者会議

日時：3月7日 場所：台東区民会館 9F 特別会議室(特)

出席者：22都道府県協会と本部から、リモートを含む41名

以 上

2025年度業務日誌（2025.4.1～2026.3.31）

2025年

- 4月 2日 第3回組織連携委員会(リモート)
 5日 第18回日中友好交流会議第3回実行委員会(茨城県水戸市)(川津, 横見)
 12日 第86回業務執行理事会(リモート)
 14日 全国女性委員会役員打ち合わせ(田島)
 15日 (一財)自治体国際化協会訪問(安藤)
 「心に映る中国」日本人がとらえた中国フォトコンテスト授賞式(中国大使館)(安藤)
 22日 (一社)西南政法大学日本公友会来訪(事務局 鈴木)
 中国共産党撫州市委員会代表団来訪(横見)
 24日 広報委員会(リモート)
 25日 岩手県日中友好協会 長葭前事務局長来訪(揚原)
 江蘇省泰州学院代表団来訪(安藤)
 四川省民間組織国際交流サービスセンター代表団来訪(安藤)
 28日 事務局懇談(西堀・安藤・横見)
 29日 2025年国際中国語デー(中国大使館)(伊藤)
 30日 第18回日中友好交流会議第4回実行委員会(リモート)
- 5月 8日 第3回財務委員会(リモート)
 9日 第58回定例理事会(台東区民会館)
 11日 2025日中友好大学生訪中団第1陣 事前研修会(台東区民会館)(橋本, 佐々木政, 小宮)
 14日 2025年度茨城県日中友好協会定期総会(茨城県水戸市)(宇都宮)
 16日 第87回業務執行理事会(リモート)
 18日 京都府日中友好協会 2025年定期総会(宇都宮)
 24～30日 2025日中友好大学生訪中団第1陣(上海・山西省・北京)(佐々木政, 小宮)
 24, 25日 中日青年合宿交流会(岐阜県岐阜市)(横見)
 27日 広報委員会
 30日 第58回定例理事会続会(リモート)
- 6月 8日 第24回全国女性委員会総会・講演会 全国女性委員会設立40周年記念祝賀会
 (長野県長野市)(西堀・上島・布施・石黒・田島・奥)
 13日 第17回定時総会・第59回臨時理事会(台東区民会館)
 14日 第18回漢語橋世界中高生中国語コンテスト日本大会(浜離宮朝日ホール)
 (宇都宮・揚原・佐々木政・小田)
 19日 「習近平中国式現代化」日本語版発刊記念式(中国大使館)(宇都宮)
 24日 広報委員会
 25日 「歴史を銘記し、平和を守る」記念レセプション(中国大使館)
 (宇都宮・岡崎・上島・奥・田中)
- 7月 5日 2025日中友好大学生訪中団第2陣事前研修(台東区民会館)
 (揚原・安藤・佐々木政・横見)
 16日 日本航空(株)来訪(揚原・安藤)
 17日 組織連携委員会(リモート)
 24日 広報委員会
 24～30日 2025日中友好大学生訪中団第2陣(河北省・北京)(佐々木政, 小田)
 31日 第88回業務執行理事会(リモート)
- 8月 3～8日 日中友好交流都市中学生卓球交歓大会(中国・北京市)
 (宇都宮・川津・安藤・小宮)
 11日 「2024年度日中友好協会派遣留学生帰国報告会・交流会」
 「中国留学生友の会」同窓会(東京都港区・中国文化センター)(宇都宮・伊藤)
 19日 2025日中友好大学生訪中団第3陣事前研修(台東区民会館)(安藤)
 25日 湖北省咸豊代表団来訪(鈴木事務局長)
 広報委員会
 26日 中華女子学院交流団来訪(ミノファーゲン製薬本社)(宇都宮・坂下)
 28日 千葉県日中友好協会 2025年度定期総会(ホテルポートプラザちば)(揚原)

- 30日 中国庭園燕趙園開園 30 周年記念式典(鳥取県倉吉市・燕趙園)(岡林・田中・横見)
宮城県日中友好協会 2025 年度定期総会(東京エレクトロンホール宮城)(宇都宮)
- 9月 5日 日本原水爆被害者団体協議会来訪(横見)
6,7日 チャイナフェスティバル(代々木公園イベント広場)(宇都宮・揚原・安藤・横見)
6～8日 第18回日中友好交流会議打合せ(中国・北京)岡崎
8日 チャイナフェスティバル友好交流会(中国大使館)(宇都宮・揚原)
8～14日 2025 日中友好大学生訪中団第3陣(吉林省・北京)(安藤・小宮)
9～13日 青年リーダー研修訪中団(北京・重慶)(揚原・伊藤)
15～20日 第18回漢語橋世界高校生中国語コンテスト 随行(小田)
21日 中華人民共和国建国 76 周年国慶祝賀会(東京華僑会館)(宇都宮)
24日 広報委員会
25日 中華人民共和国成立 76 周年レセプション(ホテルニューオータニ)
(岡崎・西堀・坂下)
26日 中華人民共和国成立 76 周年及び日中友好会館後楽寮設立 40 周年記念式典
(日中友好会館)(揚原)
- 28日「世代を超えた友好を受け継ぎ、共に平和を守る」シンポジウム
(ホテルオークラ新潟)(川津)
- 30日 中華人民共和国建国 76 周年慶祝宴会(ローズホテル横浜)(上島)
- 10月 10日 中日友好協会 程永華常務副会長一行来訪(ミノファージェン製菓本社)(宇都宮・坂下)
17日 第89回業務執行理事会(リモート)
18日 岐阜県日中友好協会創立 70 周年記念式典(ホテルグランヴェール岐山)(大藪)
19～21日 第18回日中友好交流会議(茨城県日立市・ホテルテラスザスクエア日立、
日立シビックセンター、国民宿舎「鵜の岬」)
25～30日 2025 中国留学経験者訪中団(中国・大連)(佐々木政・小田)
28日 広報委員会
31日 第60回定例理事会(リモート)
- 11月 1日 青年リーダー研修訪中団事後研修会
3日 鹿児島市日中友好協会創立 40 周年・鹿児島県日中友好協会創立 20 周年記念式典
(カクイックス交流センター)(宇都宮・森山・鎌田)
10日 湖北省潜江市代表団来訪(事務局)
18日 第43回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会音源審査
19～21日 実務訪中団(北京)(揚原・安藤・小宮)
27日 広報委員会
28,29日 2025 年度第1回全国実務者会議(リモート)
- 12月 5日 中国大使館訪問(宇都宮・揚原)
9日「中国留学の今」オンライントークイベント(伊藤)
19日 第90回業務執行理事会(リモート)
25日 広報委員会
- 2026年
1月 7日 日中経済協会・日本国際貿易促進協会 2026 年新年賀詞交歓会
(ホテルニューオータニ)(宇都宮)
11日 第43回全日本中国語スピーチコンテスト全国大会(日中友好会館)
(宇都宮・揚原・安藤・佐々木政・小田)
13日 第91回業務執行理事会(リモート)
16日 (公財)日本卓球協会 河田正也会長・星野一朗副会長来訪(宇都宮・安藤)
17日 岡山県日中友好協会 2026 年新春のつどい(ホテルグランヴィア岡山)(宇都宮・横見)
27日 千葉県日中友好協会新年祝賀会(宇都宮・小田)
広報委員会
30日 第61回定例理事会(如水会館)
2026 年日中友好新年会(如水会館)
- 2月 12日 神奈川県日中友好協会「2026 年新春交歓のつどい」(県民共済ビル5階)(揚原)
24日 広報委員会

- 2 1 日 全国女性委員会役員会
- 2 5 日 (NPO) 茨城県日中友好協会 2026 年新春交流会 (水戸駿優教育会館) (宇都宮・川津)
- 3 月 7 日 2025 年度第 2 回全国責任者・実務者会議 (台東区民会館)
- 2 0 日 2026 年「国際女性の日」祝賀レセプション (中国大使館)
- 第 92 回業務執行理事会 (リモート)
- 2 3 日 臨時広報委員会
- 2 9 日 静岡市日中友好協会創立 70 周年記念式典 (静岡市番町市民活動センター) (宇都宮)
- 3 0 日 広報委員会